

事務事業名	特定地域生活排水処理施設整備事業		所属部	上下水道部	所属課	下水道課	
総合計画体系	政策名	〈Ⅱ〉安全・安心で快適なまち〈定住環境〉		所属G	整備維持グループ	課長名 土井隆宣	
	施策名	〈15〉下水道の整備		担当者名	上代真一	電話番号 0854-42-3471 (内線) 4612	
	目的対象	市民	意図	衛生的な生活環境の中で暮らす。			
	基本事業	〈041〉下水道施設の整備		予 算 科 目	2:5:10:0:1	大事業名 特定地域生活排水処理施設整備事業	
目的対象	下水道未整備区域の市民	意図	下水道に排水できるように整備する。			2:0:0:5:0:1	中事業名 特定地域生活排水処理施設整備事業

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
雲南市内の集合処理区域外のすべての住民	対象区域内すべての宅内排水を合併浄化槽へ接続し、汚水処理を行えるようにする。
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ( H16 年度～ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度 )	<ul style="list-style-type: none"> <li>・合併浄化槽の設置</li> <li>・単独浄化槽から合併浄化槽への切替の推進</li> </ul>
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R3年度実績(R3年度に行った主な活動)	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・合併浄化槽の設置・・・29基</li> <li>・合計2,895基</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新製品の積極的な採用。低炭素社会対応型浄化槽の導入(ブロワの省エネ等)。</li> <li>・分担金の公平性について提言があり、令和元年度に見直しを行った。</li> </ul>

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R元年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(実績)	R4年度(計画)
ア 接続率	%	72.3	73.7	74.1	74.5
イ					
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R3年度決算)		② コストの推移		単位	R元年度(決算)	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(計画)
工事請負費	27,040千円	財源内訳	国庫支出金	千円	5,000	10,000	9,300	11,000
その他経費	860千円		県支出金	千円				
計	27,900千円		地方債	千円	28,200	26,400	15,900	20,800
(起債名:過疎債、下水道債)			その他	千円	3,644	4,311	2,700	3,200
			一般財源	千円				
		事業費計		千円	36,844	40,711	27,900	35,000

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	整備が進み、公共用水域がきれいになる。 水洗トイレが使用できるようになる。
② 事業実施するうえでの課題	・単独浄化槽については、合併浄化槽への切替や集合処理への接続を推進していく必要がある。
③ 課題解決に向けた改革改善等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単独浄化槽については、合併浄化槽への切替や集合処理への接続を推進していくことが必要である。</li> <li>・集合処理の面整備は概ね完了しており、浄化槽を整備することが市全体の普及率の向上へにつながるため、未設置者に対し設置を促していく必要がある。</li> <li>・大東地区については、汚水処理施設整備構想の中で下水道接続を図る予定としている。</li> <li>・浄化槽の放流問題について、正しい知識、理解の普及に努める。</li> <li>・令和6年度までに地方公営企業法の適用を行う。</li> </ul>